

第3回横芝光町学校適正配置等検討委員会
横芝地域分科会会議録

- 1 開 会 平成28年11月29日
小学校視察 午後1時
会 議 午後3時20分
- 2 場 所 横芝光町立図書館ハイビジョンホール
- 3 会議日程
○小学校視察 横芝地域：大総小→横芝小→上塚小
(1) 開 会
(2) 委員長あいさつ
(3) 説 明 町民等意向調査アンケート内容について
(4) 協 議 意見交換
- 4 出席委員 16名
- 5 出席職員 教 育 長 齋 藤 明
教育課副課長 小 川 重 之
教育課総務班 大木恵美子

事 務 局 ただ今から「第3回 横芝光町学校適正配置等検討委員会」を開会いたします。はじめに委員長からごあいさつ申し上げます。

委 員 長 (挨 拶)

それでは、早速説明に入らせていただきます。

まず、説明の(1)について事務局から説明を求めます。

事 務 局 (説 明)

委 員 長 ただ今、事務局より説明がありました。説明された内容について協議、意見交換を行います。ご意見やご質問等ありますか。

委 員 A 保護者や教職員、児童生徒は自分の学校がどれくらいの人数だとかということは把握していると思いますが、一般町民においては今現状どれだけの人数がいて何年先にどのくらいの人数になってしまうという現状報告がなければ、このアンケートを書きようがないと思います。どれだけ人数が減っているのかわからない人にそのアンケートが届いた場合を考えて、現状のことも書いておくと良いかと思えます。

委員長 ありがとうございます。事務局お願いします。

事務局 貴重なご意見をいただきましたので、参考にさせていただいて改善をしていきたいと思えます。

委員長 他にございますか。

委員 B 対象人数、対象者ですが、世帯でやるのか、個別でやるのか、どういようにお考えなのか。

事務局 基本的には世帯ということで考えております。個人個人になってしまうと集約が煩雑になってしまいますので、1世帯1通ということで考えております。

委員 B 家庭で話をしてアンケートをまとめて提出するということですね。

事務局 そうです。

委員 B 全世帯ですか？

事務局 それぞれの年代、地域というものを勘案して抽出をしたいと考えております。

委員長 数は。

事務局 概ねの設定数は検討しておりますけれども、まだ、その地区でどのくらいの割合になるかはこれからの作業になります。

委員 C 児童生徒用のアンケートですが、まず、このアンケートは何年生から何年生までを想定して出しますか。

事務局 対象は小学5・6年、中学校全生徒1から3年生ということで考えております。

委員 C 小学校5・6年生からということなのですが、私たちは読めばわかる文章ですけれども、小学生向けにしては文章が回りくどいというかちょっとわかりにくいと思えます。それと、小学生に聞くのであれば、現状の中学校がこんな感じですよというのを、例えば、学校は大変というのを入れてあげても良いと思えます。ちょっと子どもに聞くにはわかりにくいと思えます。一般町民・保護者の方は先ほどあったように今後の推移というのは必要だと思えます。何より今急に成田空港の話が出てきていますが、それで、移転地域が出てきてくると思えます。朝、世帯数をお聞きしたのですが、移転に入ったということは子どもが1人1人減るのではなくて、その世帯毎に大総地区の方が大総地

区にいてくれればよいのですが、この際他にということになれば、ごっそり数がこの読みと変わる場合もあると思います。せっかくこちらで考えていても、数が急に減るということもあると思うのですが、今後の人口の推移、ここの地域は子供が増えない可能性があるとしてダイレクトに書いてしまうのもおかしいですけれども、推移などはしっかりと一般市民のものには入れていただいた方が良くと思います。そうでないと、今のままでも良いという話で終わらず、それだけ減るのだったら早いうちに考えなければならぬだろうと思ってくれると思うので、この内容だけで送られると困ると思います。

事務局 アンケートの表現につきましては事務局の中でももんでいたわけですが、何分大人が考えるものなので、今、貴重なご意見をいただきましたので、なるべく、わかりやすい表現で子どもたちの方には配布をしたいと思います。

委員 C 問5（問6）の5番「横芝光町に誇りを持ち～」と6番の「伝統や文化を大切に～」ですが、5番の「横芝光町に誇りを持ち」を、6番の「伝統や文化を～」の前に持ってきた方が良くと思います。文章がバラバラに思えます。

事務局 検討させてください。

委員 A どれだけの人数に渡すかは先ほども言われた通り町で考えてくれると思うのですが、保護者のところですが、大総小学校は36世帯です。そこからチョイスしてではなくて、これから統廃合を考えていくにあたって一番考えている地域というのは大総地区、一緒になるということであれば上堺というようになると思うのですが、横芝小は統廃合となっても関係ないと思う保護者は多いと思います。けれど、大総や上堺は真剣に考えている問題なので、大総地区ではみんなに配ってもらえないのかと考えています。

教育長 先ほども申しあげましたとおり、基本的には3つ考えています。1つは現に複式学級を保有している学校については考えています。特に今日大総を見てもらってわかるように正式には4学級しかないわけです。2・3年生で1つ、4・5年生で1つ、あと1年、6年で4学級しかない。そうすると当然教員の数も

減りますし、いろいろな条件が悪くなっていきます。もちろん、メリットもあるわけです。その辺のところから町としては考えていきたいなと思います。2つめは、将来的に複式学級になる可能性がある学校、これについては、横芝地区の場合は上堺小が106人だったと思いますが、あと数年先には100人を割っていきます。今日、一番少ないところで11人だったと思いますが、当然、そこには16人になってしまうと複式になってしまうということで、将来的には上堺小も考えていかなければならないだろうと見込まれます。横芝小は2学級と3学級がありますので14学級あります。しばらくの間は横芝小学校は全く関係ない状況下にあります。要するに、文科省でいっております標準学級規模ということになります。これを適正化の対象から外すということではなくて、それを含めて当然考えていかなければならないと思います。3つめは中学校区ということを行いました、小学校の友人関係を崩したくないわけです。だから、小学校でいた子供たちがそのまま人間関係を崩さないまま同じ中学校に上がれば一番望ましいのかなということで、光中と横芝中につきましては、今現在、標準学級規模が維持されていますので、しばらくの間はそういうことを踏まえた上で進んでいきたいというものです。そうしますと、横芝学区で引っかかるのは大総小がまず第1ということでございます。言われたように、36世帯しかありませんから、それについては事務局としてこの後考えさせていただいて極力そういうような方向で臨ませていただきたいと個人的には考えておりますので、よろしく申し上げます。

委員 D 前回の会議資料に対象人数が一般町民約500人で回収目標率が30%となっていて、そうすると150人しか一般町民から回答が集まらないと思うのですが、このくらいの一般回答で大丈夫なんでしょうか。下に保護者、教職員関係で約2500人～3000人近くの配布があるのですが、地域に係わる一般の方が500人位なのはどうなのかなと。

事務局 回収の目標値が低すぎるかなという思いはあります。だいたいこの位だと聞いています。

教 育 長

確かに低いことは重々承知していて、表に出させていただいております。ただ、事務局としてはこの回収率を上回る努力をしたいと考えておりますので、それが最低限の数値で抑えていただければありがたいと思います。これが、100%にできれば一番良いわけですがけれども、アンケート調査をしますと 50%とか 30%とか 40%とかになってしまいます。教育委員会での数値だけではなく、町、他市町村の数値も一般住民を対象とした回収率は非常に低いわけです。とりあえず、各地区の参考資料、例えば、山武市が同じアンケートをしていたわけですがけれども、山武市の方がもっと詳しく、もっと面倒な質問事項が沢山あって、なるべく子どもたちにわかりやすくとしているのですが、大人が作っているもので、なかなかうまくいかなかったわけです。こういう地区にしても、同じパーセンテージが出てきています。ここは、小さい町ですので、極力回収率を上げる努力は事務局としてはしたいと考えていることをご理解いただきたいと思います。

委 員 E

表現・その他の中で先ほどありましたけれども、子供たちにもう少しわかりやすい表現でということでありました。もう一度この中をよく見ていただいて、多少変えた方が良いところはお任せしますので、お願いしたいと思います。例えば、一般問5-2の1) 教職員が児童生徒一人ひとりに目が行き届きとありますが、ここは小学校に対しての質問ですので「生徒」という表現ははいらないと思います。その下のところも「生徒」とあるので、これははいらないのではないかと思います。それから、その下の問6は中学校に対しての質問なのでこの「児童」という言葉は入っていますけれども、これははいらないと思います。全体の大きなことを言う場合には小中、児童生徒となりますけれども、小・中と分けて言っておりますので、そこは児童・生徒と分けないといけないと思います。それと、3ページの間8のところですがけれども、中学校1学年あたり2~3学級という標準学級になっていますけれども12学級~18学級となっている場合には、学級数から言ったら、4~6学級とならないとおかしいと思います。小学校と同じになっておりますのでそ

の辺を直していただきたいと思います。その他いくつかありますので、もう1度よく見ていただいて、手直しをしてもらえればと思います。

委員 C 先ほど、教育長が言っていた3つなんですけれども、一般町民が解釈するにはどう解釈をしたら良いのでしょうか。僕たち保護者のイメージとしては、芝山のように横芝地域で小学校を1校新しくして、全てを解決していくというイメージはあるのですが、町の方としては、議会側、教育委員会側がもっとストレートに具体的なイメージを言ってくれないと、井戸端会議で終わってしまうと思います。話をもんでいくにも提案も返事もしようがないので、思っていることをストレートにして欲しいのと、アンケートの中での生徒数が10人未満、20人未満が適正と多くの保護者が答えた場合、それに対応できるだけのお金は町にあるのですか。実際の話では、お金がないというのも会議をするには大事な話ではないかと思います。ここにはお金の出所の管理をしている人はいないし、わからないので。保護者はできるだけ良い条件での学校は欲しい。できれば、生徒数がそこそこ居て、先生が1人に対して子供が少ない中できめ細かくやって欲しいというのは、上を望めばいくらでもあるのですが、どこまで、それが可能なのかがわからないと。またアンケートだって、実際お金がないのに決めてしまって良いのか。成田空港がくれるならいくらでも良い学校にして欲しい、新しい学校にして欲しいという気持ちもありますし、その辺を議会や先生方からどう思っているかストレートなものを聞かせていただきたい。

委員 長 ある意味、この検討委員会に任されたということです。C委員の言われたようにその辺は書いてはないわけです。例えば横芝は横芝小だけに集約にするとか、大総を南条、日吉と一緒にするとか。この会にお任せいただいているというのが現状です。

委員 C 今やっているこの会議というのは、イメージを話し合っている程度なんですか。

委員 長 そうですね。残念ながら。

委員 C わかりました。

委員長 前向きに考えていただくのは良いのですが、こればかりが先行していくわけにもいかない。バランス良く。もちろんお金の問題もある。例えば、今の大総がどこかにとするとそうしたら今度はバスというところにお金が発生するし、いろいろな問題が発生するわけです。

委員 C みなさんそれに時間を使って、真剣に考えて。仕事の手を止めて、子どものために来ているのに、それがただイメージやアンケートづくりだけと言われると。

委員長 そういうことはないのですが、今、現状的にはこういうようになっていきますけれども、それぞれ、特に小さいお子さんをお持ちの小学校の保護者 PTA 関係の方が当然身近な問題ですから、考えていただくのはありがたいですけれども、現状、なかなか行政では進めづらいのです。意見はたくさんいただければ、それは当然、答申の中に組み込まれますから、いろいろと考えをいただくのは本当にありがたいと思います。

委員 F 空港問題を出してしまうと問題が全然違う方向に行ってしまいますので、空港があるからと言っているわけではないのです。それは、早すぎると思います。やはり流れとして、極端な話、理想の学級があるのだったら合併しなくても済むと思います。あくまでも、極論ですが。でも、その方向といたしましてどうしてもそうになってしまう、10年で考えると、6年位は保育園にいる子供たちを考えると大丈夫です。6年先がちょっと上堺小も複式になってくる。空港を考えるならば、その将来にやはり議員さんに頑張ってもらって、大総地区、日吉地区、そちらの方に集合住宅を建てて空港の方という形で雇用を増やすようにしないと子ども増えないです。小学校や何かを作るとかではなくて、小学校・中学校を終わるとどこかに行ってしまう。まして、そういった施策をとって世帯数は増えていきますけれども、子どもは増えないという。上堺地区も空き家ばかりになってしまってきている傾向があります。かつては跡取りということで、来ていたのですが、今、跡取りという概念がなく、どこに行っても良くて、元気で過ごしてくれればというようになっていきます。空港が悪いからとかではなくて、そういうこと

もあるということです。2030年には65歳以上が半数になってしまうという市町が増えていますからそれを阻止しなければならぬと思います。その中にやはりお金の問題があって、合併すれば経費がかからないとかあると思いますが、流れとしてはやむを得ない。それを阻止するには子どもを増やすしかないのですが、そう簡単に明日連れてくるというわけにはいかないし、また、大変なことになってくるわけです。日本に移民を入れたりすると、また、国の方で鎖国、もともとこの平和な国であるので、移民を子どもを増やすために入れるとなるとまた大変で大きすぎるので存ずるところではありませんが大事だと思います。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。今回、分科会に分かれて開催をいたしましたので、それぞれの分科会でどのような意見が出たかということについて、総務調整分科会という代表者の方の分科会も設定させていただいておりますので、そちらの方で持ち寄ってより良いアンケートにしていきたいというように考えておりますので、よろしくお願いいたします。

委員 B このアンケートはいつ頃行う予定ですか。

事務局 今回の意見集約を年末にかけて行いまして、年明けに発送ができればと考えております。

委員 B 複式学級がある、なるだろうと思われる地域についてアンケートを出す前に住民を集めて説明会を行うことはできませんか。

委員長 貴重なご意見ありがとうございます。やはり、対象地区の人たちがその意識になってもらわないと、人事だと思っていますから。我々が真剣に考えても、アンケートが戻ってこないような意識の低さでは。それもまた、今後事務局の方でよく検討していただきたいと思います。

事務局 検討させていただきます。

委員 B 学校が無くなったら、その地域が無くなる。そういう意識があるんです。いろんな話を聞いていても。その辺、そういう意識をなくすためにも地域住民によく説明をして進めていかないといけないと思います。

委員長 近隣の匝瑳市でも飯高小が特別支援学校になりました。その後

の利用もあって、地域には残してあるのです。米倉分校も使っています。コミュニティの関係で。今おっしゃったようにやはり地域の方がもっと意識を持っていただけるように何らかの周知の方法をお考えいただかないと、ただ、アンケートに今後こうなると書いてあっても意識は上がらないと思います。説明会は良い方法だと思います。

委員 B 以前も中学校の統合の話があった時に大総にも中学校がありましたが、その時も聞くと学校がなくなると大総地域全てが無くなってしまうと。そういう意識を持っています。良く説明していかないと。

委員 長 学校のなくなる寂しさはその人でないとわからないみたいですから。どこが無くなるのか。保育所でもあって、沈静化していますが、難しい。保育所1つでもそうですから、学校はまして。今の団塊の世代の大総小は2クラスあったと聞きますから。大総のことを考えてあげた方が良くと思います。それでは、他になければ終了します。

【終了時間】 午後4時16分